



表彰状を手に受賞を喜ぶ廣田会長

12月8日

### 北海道国民健康保険団体連合会表彰 廣田達郎さん受賞

令和5年度北海道国民健康保険団体連合会表彰を受賞した町国民健康保険運営協議会の廣田達郎会長への伝達式が役場で行われ、棚野孝夫町長から廣田会長に表彰状と記念品が贈られました。

廣田会長は、平成23年2月に町国民健康保険運営協議会委員に就任。平成27年から会長に就任し、国民健康保険事業の推進向上に尽力しました。



左から齊藤専務、本保専務、大畑代表取締役、棚野町長

12月8日

### 町内企業3社が新たに認定 「自然の番人宣言」賛同企業等宣言式

新たに「自然の番人宣言」運動の趣旨に賛同した、町内企業3社の宣言式が役場で行われました。釧路管内7町村で計342の企業・団体が認定となりました。

この日は、(有)齊藤土建興業の齊藤雅志専務、(有)白桜建設の本保翼専務、北海土木興業の大畑光代表取締役が役場を訪れ宣言書を読み上げました。その後、棚野孝夫町長より認定証が交付されました。

12月4日

### 白高生英語で日本の文化を伝える JICAとの交流事業

白糠高校は、国際協力機構（JICA）の研修員と交流事業を実施しました。研修員は掘削技術を学ぶために来日したエチオピア、ケニア、タンザニア、ジブチから2人の計5人。

この日は、研修員がそれぞれ自国の食べ物や民族衣装などを紹介。高校生は、英語で書道や折り紙など日本の文化を紹介し、交流を図っていました。



書道に挑戦するタンザニアから来たエマニュエルさん



①白糠学園5年生は「白糠の食の魅力を発信しよう!」と題して、羊肉や海産物などについて発表②庶路学園4年生は「白糠の食」と題して、タコとツブについて発表③健全育成表彰で川島眞澄教育長から表彰状を受け取る鶴田哲明さん(左)

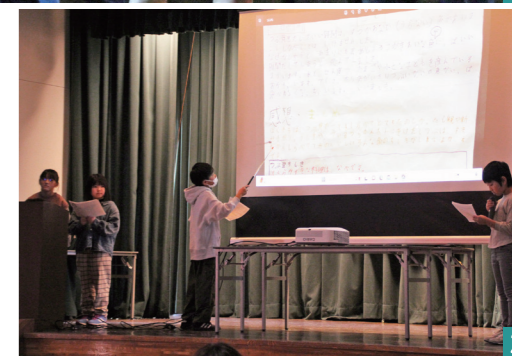


11月26日

### 町の将来を考えて 明日の青少年を考える集い

町教育委員会主催「明日の青少年を考える集い」が社会福祉センターで開かれ、健全育成表彰やふるさと教育報告会が行われました。

同報告会では、小学生から高校生までの8組が町の福祉や産業、食の魅力などについて発表。白糠学園9年の櫻井駿介さんは、サウナに着目し「シソのアロマを使ったサウナを作り、観光客を増やし町の発展につなげるのはどうか」と提案していました。



12月8日

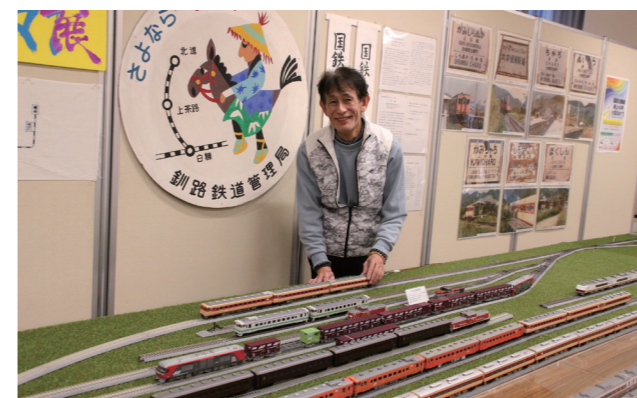
### 消費者トラブルへの対策学ぶ 釧根地域消費者問題懇談会

釧根消費者協会連合会主催の釧根地域消費者問題懇談会が庶路支所で開催され、会員約60人参加しました。

懇談会では、釧路市消費生活センター相談員の道林正子氏が「多様化する消費者トラブルとその対策について」と題して講演。「電話でしつこく再勧誘することは特定商取引法で禁止されているので、法律違反を伝え、きっぱり断ることが重要」と話していました。



「おかしいと思ったらまずは相談してほしい」と道林氏



会場を訪れ鉄道模型の動きを確認する北野さん

11月28日～12月24日

### 旧国鉄白糠線廃線40年 鉄道ジオラマ展

旧国鉄白糠線の廃線40年を記念した「鉄道ジオラマ展」がウレシパチセで開かれました。ジオラマは、喜多島麻鈴さんの作詞・作曲家で有名な北野はじめさんの所有物。白糠線の歴史を伝えつつアイヌ文化にも触れてほしいと、北野さんの協力で実施しました。

北野さんは「来場者に楽しんでもらえてうれしいです。また機会があれば協力したい」と話していました。

11月25日

### 地元食材で料理に挑戦 食育炊事体験教室

子ども食堂を運営するNPO法人陽向ぼっこが「食育炊事体験教室」を社会福祉センターで開きました。

同教室は農林水産省の補助金を活用して実施。参加した10人の小学生は、白糠酪恵舎の及川由博さんの指導で「じゃがいもとチーズのガレット」など、チーズを使った3品の料理に挑戦しました。できあがった料理は、みんなでおいしそうに味わっていました。



指導する及川さん(右)と料理に挑戦する参加者